

## 新型コロナウイルス感染症に係る農林水産業への影響と対応について

### 1 農林水産業における影響

#### (1) 影響調査

- ・農林漁業者及び関係団体に対して、聞き取り調査を実施。

【実施期間】令和2年4月13日から17日まで

【調査対象数】266（農業142・畜産業32・水産業43・林業49）

#### (2) 分野別の主な状況

##### ①農業

- ・野菜は、家庭内需要が増加しており、本県で生産される多くの品目について、価格は堅調。
- ・花きは、イベントの自粛により取引量が一部の品目で大きく減少。
- ・本県の特産品であるハウスすだちは、外食需要の減少により価格が低下。
- ・観光農園では、団体客のキャンセルが多く発生。

##### ②畜産業

- ・豚肉などの食肉や鶏卵は、家庭内需要が増加しており、価格は堅調。
- ・阿波牛など高価格帯の牛肉は、外食需要の減少により価格が低下。
- ・牛乳は、価格に大きな影響は出ていない。

##### ③水産業

- ・イセエビ、マダイなど高級魚介類は、外食需要の減少により価格が低下。
- ・土産物となるわかめ類は、観光客の減少により在庫が滞留。

##### ④林業

- ・中国からの住宅関連部品の輸入停滞による住宅着工数の減少などを受け、木材需要及び原木価格が低下傾向。

### 2 対応状況

#### (1) 新型コロナ対策農林漁業者緊急支援事業（令和2年2月補正）

- ・経営の維持安定に必要な資金への利子補給や保証料補助のほか、収入が著しく減少した方へ一時金を支給
- ・専用相談窓口を開設し、運転資金の調達や一時金の問い合わせに対応  
（4月27日現在 相談件数 29件）

(2) 国の緊急経済対策（4月20日 閣議決定）

①農林水産関係の補正予算総額 5,448億円

②主な事業内容

- ア 農林漁業者の経営維持・再建のための資金繰りの確保
- イ 野菜価格及び漁業収入の安定対策によるセーフティネットの確保
- ウ 需要減退による在庫の増大が著しい原木・水産物の一時保管への支援
- エ 需要が減退している農林水産物等への販売促進 など

(3) 農林水産物の需要喚起の取り組み

- ア 県・関係団体ホームページ及びラジオにおける広報（3月6日から）
- イ 学校給食用牛乳の200mlパッケージでのスーパー販売（3月14日から）
- ウ 県庁でのフラワーアレンジメントの展示（4月7日から）
- エ 阿波ふうど号による学童保育施設での県産食材を使った食事の無償提供（4月20日から）

(4) 県有施設等の状況

①指定管理施設

- ア 徳島県立神山森林公園イルローザの森（神山町）
  - ・ 5月6日まで休園
- イ 徳島県立高丸山千年の森（上勝町）
  - ・ 屋内施設（千年の森ふれあい館、現地案内所）等は閉鎖
  - ・ 屋外施設（トイレ等）は、注意喚起の張り紙を掲示

②その他施設

- ア すぎの子木育広場「すきっぷの森もっく」（徳島市）
  - ・ 5月6日まで休業
- イ ターンテーブル（東京都）
  - ・ 物販部門は、県産食材の販売を実施
  - ・ レストラン部門は、テイクアウトのみ営業
  - ・ 宿泊部門は、5月6日まで休業

③各種学校等研修施設

- ア 農業大学校
  - ・ 5月6日まで休校
- イ アグリビジネスアカデミー
  - ・ 徳島かんきつアカデミー及び六次産業化コースは、5月6日まで休講
  - ・ 農業経営者育成コース及び農業基礎春夏コースは中止
- ウ とくしま林業アカデミー
  - ・ 5月6日までオンライン授業を実施
- エ とくしま漁業アカデミー
  - ・ 換気やレイアウト等で間隔を確保し、5月7日から研修開始予定